

旧市町村と旧広域の 半年分の決算を認定

2月臨時会が2月6、7の両日開かれ、川西保育所の改築費と雪対策費など2億4,612万5千円の追加を盛り込んだ17年度一般会計補正予算（第4号）を可決しました。

また、合併後初の決算審査が行われ、平成17年4月から9月までの旧8市町村と旧広域市町村圏組合分の各会計決算101件が上程されました。

審査にあたっては、議長及び議会選出監査委員を除く32名で2つの特別委員会を設置。それぞれ16名で構成する一般会計等決算特別委員会と企業会計等決算特別委員会を閉会中に開催し、審査することとして2月臨時会を閉会しました。

なお、決算認定は3月定例会の初日6日に各特別委員長から審査報告があり、討論、採決の結果、101件すべての決算を全会一致で認定しました。

特別委員会で審査された主な内容を紹介します。

一般会計等

横手地域局分

質疑 旭地区交流施設調査費の内容について聞きたい。

答弁 17年6月に地元の方々で推進委員会を立ち上げ、月一回ずつ委員会を開催したほか、市内の先進事例調査をし、先般市長に対し施設の規模、内容、機能について答申という形で報告した。

増田地域局分

質疑 旧増田町で運営されていた各地域センターの活動状況と新市で計画されている地区会議との関連は。

答弁 地域局管内4ヶ所の地域センターに職員を各1名配置し、運営協議会の委員の方々と色々な特色ある事業を実施した。来年度も地区会議と同じ役割を担ってもらいたいと考えている。

平鹿地域局分

質疑 新市の中で、旧平鹿町の国民健康保険税が一番安かったが、今後予定される均一課税への対応は。

答弁 昭和40年代より取組んで来た各種事業の成果もあり、一人当たりの医療費が少ない事等で、税負担も軽かったと思われる。今後

数年で国民健康保険税が均一化されることについては、さらに周知を図っていく必要があると思う。

雄物川地域局分

質疑 旧雄物川町の小中学校の統廃合、改築についての基本的な考え方は。

答弁 雄物川中学校は老朽化が進み、耐震の問題から旧町議会の特別委員会より改築すべきと意見をいただいている。小学校は、急激な少子化の中で山間部の学校は複式学級となっており、各学校の教員やPTA等で検討委員会を作り、一校に統合すべきとの意見書が提出されている。

大森地域局分

質疑 墓園造成の進捗状況と隣接する生きがい交流広場、いきいき農園と一体化した公園整備ができないか。

答弁 大森地区内から公園墓地の造成要望があった。健康の丘周辺一帯に不法投棄も増えていたこと等から、公園的に整備することにしたもので、昨年12月に完成している。

十文字地域局分

質疑 農村女性活動振興費の農産加工生活研究グループ活動とは。

答弁 20年ほど前から、地域の申